



まるごと松戸ファンドのご案内

特定非営利活動法人

コミュニティ・コーディネーターズ・タンク

CoCoTについて

地域に住む人々が、自己決定力と課題解決能力をもつ地域社会の形成を目指す。

- ・市民、NPO、行政、事業者など地域の各主体の協働をコーディネーション
- ・市民活動の支援
- ・担い手となるコーディネーターの育成に取り組む。

設立	平成18年 5月 1日				
理事	11名	会員	17名	職員	20名
事業規模	4千99万円(平成21年度決算)				
事業内容	○平成22年度の主な事業 ■松戸アートラインプロジェクト事務局【協働:松戸市政策調整課】 ■空き店舗を活用したまちづくり事業担い手育成【委託:松戸市商工観光課】 ■まつどインフォメーションデスク運営【委託:松戸市商工観光課】 ■市民活動ハンドブック等作成【委託:松戸市協働推進課】 ■まつど市民活動サポートセンター運営【指定管理:松戸市協働推進課】 ■まるごと松戸ファンド(松戸市内NPOへの助成)【自主事業】				

まるごと松戸ファンドの概要

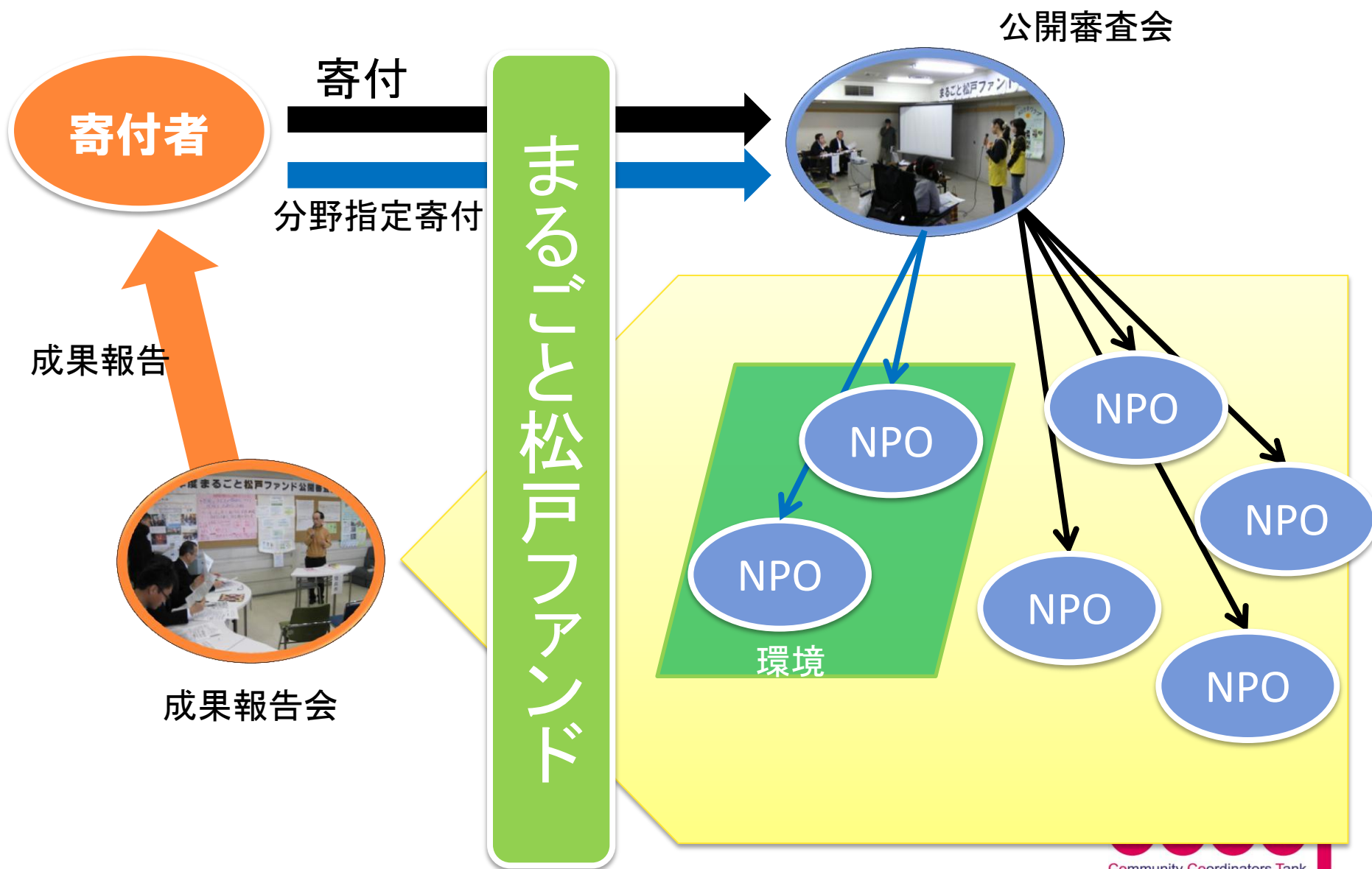
目的 ①松戸市内NPOの運営基盤強化
②地域の人が地域の活動を応援する仕組みづくり

原資 市民・事業者からの寄付

実績 助成：団体 17団体(延べ) 総額 55万円

審査 毎年3月「NPO・市民活動見本市」にて
公開審査会を実施

まるごと松戸ファンドの仕組み



助成事例①不登校問題を考える 東葛飾の会「ひだまり」

助成金使途:「お米づくり」を楽しもう ～自然を味わい、人とつながりながら～

事業年度:2010年 助成金額:4万円



■団体の概要

不登校が増えて、相談したり、学びあったりする場が必要になり設立。子どもが学校・社会にすぐに向かえない時、ありのままの自分を受け入れてもらえる体験・居場所をつくる。

■助成事業

北小金の田んぼを借りて、農家の指導のもと、田植え、稲刈りなどの共同作業、自然体験をおこなう。不登校の子どもたちが、地域の子どもたち、大人たちとつながりを深める活動。

9月の稲刈りでは100名近くの親子が参加した。

助成事例②NPO法人 風の子サークル

助成金使途: 毎月の活動費の補填 事業年度: 2009年 助成金額: 4万円



■団体の概要

未就園児の親子を対象に、親子で向き合う楽しい時間と、子育てに必要な知恵や情報を提供する。

■助成成果

毎月1回、親子遊びの会を開催。助成を受けたことで、参加者の負担金額を下げることで(500円→300円)、結果としてたくさんの親子に利用をしてもらった。



<開催内容>

- ・風の子座人形劇「きつねとたぬきのばけくらべ」
- ・作って遊ぼう！牛乳パック工作「犬のおまわりさん」
- ・親子で遊ぼう会 & 風の子座「新聞紙で昔話」
- ・藤田さんと親子で遊ぼう会(講師)
- ・風の子座「玉すだれ」と人形劇「ねずみくんのチョコッキ」
- ・親子で絵本を楽しもう(講師)
- ・折って作ろう！卓上クリスマスツリー
- ・藤田裕子さんのお話会(講師)

助成事例③NPO法人 さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人

助成金使途：外出困難者とともに外の風にあたろう

事業年度：2009年 助成金額：4万円



■団体の概要

在宅で援助が必要な高齢者やその家族、その他の手助けを必要とする人々に対して、生活支援サービスをおこなう。

■助成成果

車椅子ごと乗降できるリフト付大型バスにより、車椅子や歩行困難者などに旅行を楽しんでもらう。また、協力者にとっては車椅子操作の練習の場になる。助成金はバスのチャーター料金に使用した。

2009年に10月15日(木) “つくば宇宙センター” および “アクアワールド【茨城家大洗水族館】” 日帰り研修旅行を実施。参加者37名(うち車椅子参加者3名)



参考：企業CSRの最近の動向

SayLOVE2010

<http://saylove.jp/>

2010年11月1日～12月31日。

NPO法人チャリティプラットフォームによるチャリティキャンペーン。本年度は現時点で41企業が参加。企業の売り上げの一部を指定のNPOに寄付、またはNPOの募金箱設置に協力するなどで参加する。

CANPAN CSR大賞

http://blog.canpan.info/csraward_2010/

日本財団が運営。企業がCSRの取り組みをエントリーし、市民の投票により大賞を決める。